

## 第1回 可児市地域公共交通協議会 議事（要点）録

1. 開会日 令和5年8月10日（木曜日）  
開会時間：午後1時30分  
閉会時間：午後2時30分
2. 開会場所 可児市役所4階 第1会議室
3. 出席者
- |    |           |            |  |
|----|-----------|------------|--|
| 会長 | 高木 伸二     |            |  |
| 委員 | 林 宏次      | 加藤 博康（代理）  |  |
|    | 花村 元気（代理） | 山本 俊浩（代理）  |  |
|    | 水野 泰行     | 大原 昱夫      |  |
|    | 林 則夫      | 伊藤 佳林      |  |
|    | 前田 伸寿     | 堀部 勝三      |  |
|    | 谷口 新二     | 渡邊 雅美      |  |
|    | 渥美 宏      | 小倉 保二（代理）  |  |
|    | 青木 誠司     | 楠山 貴司      |  |
|    | 倉内 文孝     | 城戸脇 研一（代理） |  |
4. 事務局
- |       |          |        |
|-------|----------|--------|
| 建設部   | 都市計画課長   | 柴山 正晴  |
| 都市計画課 | 公共交通係長   | 草野 亜紀彦 |
| 都市計画課 | 公共交通係 主任 | 吉村 孝徳  |
5. 議事
- 報告第1号 市コミュニティバス令和4年度実績及び令和4年度事業の実施状況について
- 協議第1号 可児市地域公共交通網形成計画の中間評価（令和5年度実施）における市民・利用者アンケート調査（案）について

<p>6. 会議内容</p> <p><b>開会</b> 事務局</p> <p><b>会長あいさつ</b> 会長</p> <p><b>非公開情報の確認</b> 事務局</p> <p><b>議事録署名者の指名</b> 会長</p> <p><b>報告第1号</b> 事務局</p>	<p>開会を宣言した。</p> <p>あいさつを行った</p> <p>非公開情報はない旨を報告した。</p> <p>議事録署名者として、2名の委員を指名した。</p> <p>市コミュニティバス令和4年度利用実績及び令和4年度事業の実施状況について、資料1・資料2に基づき説明を行った。</p>
<p><b>質疑応答</b></p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>資料1で説明された各路線ごとの利用者数について、桜ヶ丘線が増えていることなど路線ごとの分析や調査はしているか。</p> <p>現在のところ、できていない。各路線の分析は重要で、また課題でもあると認識しているので、今後実施する利用者アンケートなどで分析していきたいと考える。</p> <p>近年、運転免許証の返納の促進が随分進行しているが、免許返納されたお年寄りには本当にすべての面で、不自由な思いをしているのをよく見る。どこまで対応できるか分からないが、そのフォローアップの方法等があったら教えてほしい。</p> <p>自主返納者というのが年々増加傾向にあり、その支援ということについては市でもやはり課題だと考えている。</p> <p>その点について、運転免許を返納した方がどのようなことを求めているのかなど声を訊くため、協議事項にあるアンケートを取り、検討・分析していく。</p>

<p>委員</p>	<p>運転免許返納者には、コミュニティバスを使うのに慣れてもらうため、11枚綴りのバス回数券を交付していると思うが、アンケートの中で出てくる意見については、相談しながら対応を考えてほしい。</p> <p>すべての要望に応えるのは不可能なことは分かっているが、できるだけ応えられるよう考えてほしい。</p> <p>2点目の意見として、名鉄広見線の活性化協議会において、私は委員を初代から務め、言うべきことは言い尽くしたが、さまざまな要望にはなかなか応えてもらってはいない。</p> <p>ただ1つお願いしたいのは、高校生たちの通学の足や、交通弱者の足の確保のため、何としても存続させていかなければいけないと考えている。</p> <p>名鉄広見線の活性化協議会でも話しているが、最終的に提案したいのは、広見線を路面電車化して、昔あった前波駅、学校前駅という小さな駅をただのプラットフォームを作るだけでいいので復活させ、駅員も必要ないので、自由に乗降できるようなかたちをとる。そうすると、例えば前波駅を復活させれば、市役所に用事のある方、可児工業高校へ通う子供たちなどにとっては非常に便利になる。</p> <p>富山地方鉄道のようなLRT方式では、非常にお金がかかるため、現行車両のまま路面電車化できれば、それに越したことはないということを考えているので、何度も言うが、ぜひ実現をしていただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>名鉄広見線については、厳しい状況にあり、現在は御嵩町と可児市から助成をしているかたちで運行し、3年ごとに見直すことになっている。なかなか将来的な展望が立たないというのが現状。この会議で結論が出る話ではないが、そのような考えがあるということは伝えていく。</p> <p>特に御嵩町にとっては、大変重要な路線で、可児市にとっても高校生の足の確保という点に関して重要な路線である。</p> <p>助成に関しては、可児市から年間3,000万円、御嵩町から7,000万円という大きな額が出ており、この範囲内で何とか存続してほしいというところである。</p>
<p>委員</p>	<p>また現在、可児市の東部に工業団地を造成しており、そこへ企業が入れば、その従業員が利用する新駅もつくらなければならないと思っているので、それも念頭の上でいろいろ検討いただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>近くに明智駅があることはあり、単純に近ければ近い方がいいということでもないが、今後の方針については改めて検討していく。</p>

委員	<p>1点目の質問だが、先ほど渥美委員が話したように、路線ごとの分析はとても大事だと思う。アフターコロナで増えたところ、逆に戻ってきてないところの分析をしてほしい。</p> <p>さつきバスについては93%ぐらい、電話で予約バスについては91%ぐらい戻ってきており、おそらく路線バスの方はそれなりに戻ってきているように見受けられる。他のところを見ても、やはり路線バスは90%ぐらいの戻りのところが多い。一番最後の足になるようなデマンド系は、場所によっては、もう戻ってきているところが多いような気がする。それが91%というのは、少し戻りが遅いかなとも思うので、その点も少し気にしてもらえるとよい。</p> <p>でも1点気になったのは、おでかけしよ Kar Kバス。これに関しては、全然戻ってきてないように見える。ここが一番気になるところで、この点について何か今後検討していくような予定があるか教えてほしい。</p>
事務局	<p>事務局としても、少し戻りが悪いというところは感じている。今後どうしていくのか検討を始めている段階で、今後の具体的な案について現時点ではまだお示しできない。</p> <p>もともとの利用者数自体も多くはないので、ターゲットの絞り方なども含めて検討していく。</p>
委員	<p>休日運行の観光目的ということで運行していると思うが、だからといって休日に病院に行く人もたぶんいないと思うので、運行目的など抜本的に考えないと、存続にも関わる課題になると考える。</p> <p>2点目の質問だが、資料2に記載されている項目6の「利用者目線とわかりやすい情報提供」という箇所に関して、実施状況欄に総合公共交通マップの策定というのがあるが、作成しているか。ホームページを見ても見つけられなかったのが教えてほしいが、今後の課題ということか。</p>
事務局	<p>バスや鉄道などすべてを網羅した総合公共交通マップについては、可児市はまだ作成していない。</p> <p>(※資料2の実施状況欄、課題・今後の方針欄にも検討する旨記載)</p>
委員	<p>資料1の中で、おでかけしよ Kar Kバスについては、1日当たりの利用者数、一便当たりの利用者が出ているが、さつきバスや、電話で予約バスについても同様に記載した方がよいと思う。分かるのであれば、教えてほしい。</p>
事務局	<p>資料の作り方が統一されておらず申し訳ない。今すぐに答えられないので、また議事録等公開する際に、ホームページで公表させてもらう。</p>

<p>会長</p>	<p>資料については、ホームページで公表するだけでなく、改めて送付させてもらう。</p>
<p>委員</p>	<p>おでかけしよ Kar K バスなどを利用するときは、駅まで行かなければならないが、その手段がない。</p> <p>知人の高齢者には、脳梗塞を患い右半身が麻痺して、その人は特にひどくて右手が利かないため、運転もできない。足も不自由になると、どこ行くにも誰かに連れていってもらわなければならない。</p> <p>今は、フレイル予防という要するに健康寿命を延ばそうという運動を、市を挙げてやっており、今後健康なお年寄りがいっぱい出てくると思う。ただ、今は健康であっても、脳梗塞や心筋梗塞など病気をした後には、そういう不自由さが出てくる。そういう時を考えると、戸口から戸口へ目的の場所へ輸送するというようなことを考えてほしい。それには予算がどれだけかかるかは分からないが、事実愛知県のある市ではそういうことをやっている。</p> <p>私は桜ヶ丘ハイツに暮らしているが、何年前に桜ヶ丘ハイツでそれをやろうと思ったが、人数が少なく規模も小さく、制度として見合うことができないため、行政が市全体としてやる方がよい。お金がかかり、やることも多く、大変なことだと思うが、将来考えていくという方向でお願いしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>今のドアtoドアの話については、検討の必要性を重々承知しているが、公共交通という観点からすると、なかなか難しい部分がある。福祉的な面からしても、人の力を借りないと移動できないという方の支援というのは非常に重要である。</p> <p>例えば有償ボランティアの力を借りながら支援するという方法もある。今回のアンケート等の中でも、そういう高齢者への支援ということに対してそのニーズを聞きながら、福祉部門と連携しながら考えていきたい。</p> <p>以前から言われていることではあるが、お金さえ使えば、極端な話、タクシーのチケットを配布するというのも案としてはある。しかし、タクシー業界も担い手不足で運行台数の確保など、いろいろ課題はあると思うが、考えていかなければならない問題だとは十分認識している。</p>
<p><b>協議第1号</b> 事務局</p>	<p>可児市地域公共交通網形成計画の中間評価（令和5年度実施）における市民・利用者アンケート調査（案）について、資料3-1、3-2、3-3、3-4に基づき説明を行った。</p>
<p>質 疑 応 答</p>	

委員	<p>高齢化の課題を抱えている地区は、交通が不便と思っている方が多いと聞いている。</p> <p>アンケートは、無作為ということだが、可能であれば、全世帯にアンケートを取る方がより良い原因が抽出できると考えるがどうか。</p>
事務局	<p>市民全員からアンケートを取れるのがいいとは思いますが、3,000人を対象に世代や地区をある程度ばらけて取ること、一定程度地区や世代の状況を知ることができ、可見市全体としての状況やニーズは把握できるという認識である。また、今回のこのアンケートだけではなく、過去の資料も踏まえて、中間評価（アンケート結果含む）の結果を報告する。</p>
委員	<p>アンケートに高齢化率が載っているが、その理由がよく分からない。団地ごとの率まで書く必要もなく、先入観を植え付ける気がする。</p>
事務局	<p>可見市でも高齢化が進んでいる状況なので、そういった前提を踏まえて、あくまで参考情報ということで掲載している。先入観を植え付けるという意味では、掲載方法などについては検討する。</p>
会長	<p>可見市でも高齢化が進んでいるということを知らない方も見えるかもしれない。お住まいの地区によって感覚も違い、高齢者の移動支援についてという設問で、いろんな方の意見を聞きたいという意味では、そういう情報はお知らせする必要がある。表現方法については、また検討した方がよい。</p>
委員	<p>書くのであれば、こう推移してきたとか、ここの一つのポイントではこう推計されるなどの表現にした方がよいと思う。</p> <p>現在、私は近所の高齢者の方のごみ出しや、買い物や病院の付き添いなどのお手伝いをしている。そうした高齢者が荷物を持った状態でバスに乗るのは大変で、バス停まで行くのも難しいと思う。そうしたことをこのアンケートの中でも分かるようにした方がよいのでは。</p>
事務局	<p>先ほど会長からも話があったように、広いエリアをカバーできて誰でも使える公共交通の役割と、ドア to ドアで各ニーズに合わせて福祉的な面もある移動支援について、事務局の都市計画課だけではなくて、福祉部の方とも今後協議しながら、検討していく。</p>
委員	<p>まず1点、いいなと思ったのはアンケートの中で、それぞれの交通手段単体だけではなくて、出発地から目的地まで複数の手段を使うこともある程度想定して、乗り継ぎについての設問などがあるのは実態がつかめるような気がしてよいと思う。</p>

	<p>一方、公共交通を使われてない方には、実際にどういうものが走ってるのかも分からないと思う。私も今の部署に来る前は、車で全部移動してしまうので、なかなか自分の家の近くでどういうのものが走っているのか調べたりもしていなかった。ただ実際調べてみると、この路線だと便利で使いたいなというものも見つかったりする。今回アンケートを取ることは、多くの方にコンタクトを取り周知する良い機会なので、アンケートの中に落とし込むよりも、周知するものを入れて知ってもらうきっかけがあってもよいと思う。</p>
事務局	<p>今回アンケートを実施するだけではなくて、市民アンケートを3,000の方に送るのにあたり、可見市の公共交通をPRするチャンスとして概要をまとめたようなチラシを同封させて周知できればと考えている。</p>
委員	<p>アンケートについて文言等で気になる細かい点は後ほど事務局に伝える。</p> <p>可見市は、トイレなどに外国語表記をしているところも多く、外国籍の方が多く住んでいるため、その人たちに向けたアンケートや周知というものはどのように考えるか。現時点で多言語版を作成するのは難しいと思うが、関係団体にヒアリングをかけてみるのも一つの手である。</p>
会長	<p>可見市に暮らす外国籍の方の平均年齢は若いため、現時点での影響はあまりないかもしれないが、暮らし続ける方も多いので、外国籍市民を支援する国際交流協会にヒアリング等についても検討していく。</p>
事務局	<p>アンケートについては、本日の指摘も含め修正した上で、9月ごろに実施し、その結果等については、協議会の場で報告する。</p>
<div data-bbox="164 1352 252 1391" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</div> 事務局	<p>本日の会議の内容について、非公開情報がないことを確認した。</p>
<div data-bbox="164 1498 225 1536" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">閉会</div> 事務局	<p>閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>